

# CASBEE<sup>®</sup>新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版  
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)  
■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

## 1. 建物概要

建物名称	株式会社 松前港商物流倉庫 増築工事	
建設地	北区 横土居1586	
用途地域	指定無・市街化調整区域	
建物用途	工場	
竣工年	2017年4月 竣工	
敷地面積	16,555.81 m <sup>2</sup>	
建築面積	2,640.00 m <sup>2</sup>	
延床面積	2,640.00 m <sup>2</sup>	
階数	地上1F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2016年11月19日	

## 2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{42.9}{41.5} = 1.0$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

## 3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.0		バリアフリー	Q2.1.1.3 -
			維持管理	Q2.1.3 -
			更新性	Q2.3.3 3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.1		耐震・免震	Q2.2.1 3.0
			信頼性	Q2.2.4 3.2
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1 3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物の熱負荷抑制	LR1.1 -
			自然エネルギー利用	LR1.2 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.0		節水	LR2.1.1 -
			リサイクル材の使用	LR2.2.4 1.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6 5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	1.5		生物環境の保全・創出	Q3.1 1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2 2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	2.5		まちなみ・景観への配慮	Q3.2 3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1 2.0

## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

# CASBEE<sup>®</sup>新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)  
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)

## 評価結果内訳

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社 松前港商物流倉庫 増築工事	階数	地上1F
建設地	新潟県新潟市北区	構造	S造
用途地域	指定無・市街化調整区域	平均居住人員	2人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	1,932時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年4月 竣工	評価の実施日	2016年11月19日
敷地面積	16,556 m <sup>2</sup>	作成者	山賀 秀人
建築面積	2,640 m <sup>2</sup>	確認日	2016年11月24日
延床面積	2,640 m <sup>2</sup>	確認者	山賀 秀人



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

**Q のスコア = 2.7**

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

#### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.3**

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 維持管理費の削減として、耐候性、耐食性のある建材の選定。省エネ対策としてLED照明器具及び可動式ラックの動力回路2分割切替方式の採用。自然への取り組みとして外構舗装工事を極力行わないような計画を行った。		<b>その他</b> 建設工事における資材を工場で切断加工し搬入することで現地での廃棄物削減すると共に、発生した廃棄物を分別回収することでリサイクルする。又、アイドリングストップを実施し建設車両の排気ガスによるCO <sub>2</sub> 削減を実施する。
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b> 構造設計で検定値0.85をクリアするよう耐震設計を実施。また、屋外部分の鉄骨は亜鉛メッキ処理、外壁はGL鋼板建材やSUSビスなど耐候性のある材料を採用して維持管理費の削減、高寿命の建物となるよう計画とした。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 工事前の敷地に極力手を加えないよう、建物北面のプラットホーム以外は現況の地盤の土を埋戻し土に再利用し、草木などの自生種の発生・保全に配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> 建物の外皮となる外壁及び屋根に断熱材を設置し、室内温度の上昇低減に努めLED照明器具を採用、可動式ラックの動力回路も2分割とし、切替方式にすることで全体の半分の消費電力とするなど省エネに配慮した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 既存施設の給排水衛生設備を利用することで、節水及び工事費の削減となるよう計画した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 卓越風を考慮、敷地内駐車スペースの確保に努め、屋外広告物設置を行わない等の配慮をした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される